

令和6年度

長岡市社会資本総合整備計画等
事業評価監視委員会

計 画 名	長岡市の雪や災害に強く安全・安心な道路空間の形成 (防災・安全)
分 野	道路事業
交 付 金 名	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)
評 価 種 別	事後評価

令和7年2月5日

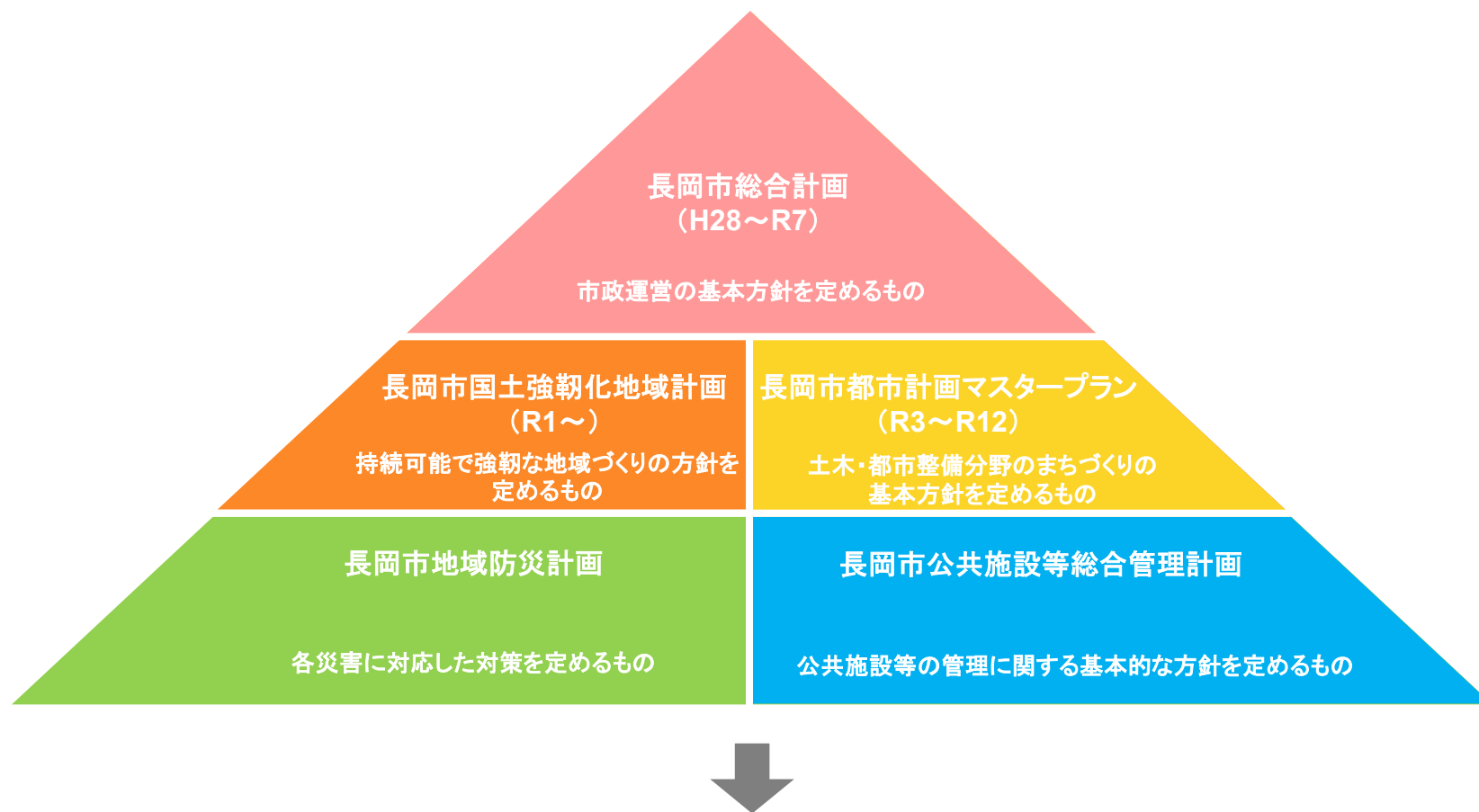


目次

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 社会資本総合整備計画の概要について | p.3 |
| <hr/> | |
| (1) 上位計画の概要 | |
| (2) 本整備計画の概要 | |
| (3) 各事業の内容 | |
|
 | |
| 2. 事後評価にかかる審議 | p.53 |
| <hr/> | |
| (1) 成果の達成度評価 | |
| (2) 事業の効果発現要因 | |
| (3) 定量的指標以外の交付対象事業の効果 | |
| (4) その他関連事業 | |
|
 | |
| 3. 今後の社会資本整備の方策にかかる審議 | p.65 |
| <hr/> | |
| (1) 今後の社会資本整備の方策 | |

1.社会資本総合整備計画の概要について

(1) 上位計画の概要



社会資本総合整備計画
「長岡市の雪や災害に強く安全・安心な道路空間の形成(防災・安全)」

(1) 上位計画の概要

● 長岡市総合計画(H28～R7)

策定の目的

市政の基本方針及び各政策分野の施策方針を総合的に定めること。

関連する政策及び施策の柱

【政策5】都市環境の充実

- 施策の柱 5-2 身近な生活基盤の整備・活用
- 施策の柱 5-3 災害に強いまちづくりとインフラの長寿命化

関係する主要な取り組み

- 道路等の生活基盤の整備
- 道路等の既存資産の有効活用と適正な維持管理
- 良好な除雪体制の維持
- 消雪施設などの適切な維持管理と更新
- 道路等の適切な維持管理による長寿命化とライフサイクルコストの縮減

(1) 上位計画の概要

●長岡市都市計画マスタープラン(R3～R12)

策定の目的

概ね20年後の都市の姿を見据えつつ、実現可能な10年間の「都市づくりの方針」を総合的・体系的に示すこと。

関連する道路網の整備方針

- ③道路整備の選択と集中、安全性・快適性を高める道路空間づくり
- ④道路施設の老朽化と今後の維持管理
- ⑤除雪体制の維持と効率的な除雪

関係する主要な取り組み

- 既存道路の安全性、快適性を高める道路空間づくりや通学路の整備
- 道路、橋りょうの長寿命化修繕計画の見直しと予防保全の推進
- 道路ネットワークを重視した効率的な除雪の実施

(1) 上位計画の概要

● 長岡市国土強靱化地域計画(R1～)

策定の目的

東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年12月、国は「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」(以下、基本法という。)を制定し、平成26年6月に「国土強靱化基本計画」を策定した。法の趣旨を踏まえ、国土強靱化の取組みに着手(キックオフ)し、これまでの被災経験で培ったノウハウを昇華させ、災害に負けない、活力のある「強靱な地域」をつくりあげるため、「長岡市国土強靱化地域計画」を策定した。

関連するリスクシナリオと推進すべき施策の方針

【リスクシナリオ】大雪による道路交通網の麻痺や公共交通機関の運休等の発生

＊ 推進すべき施策の方針 ＊

● 幹線道路や生活道路の道路交通網の確保 等

【リスクシナリオ】異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水

＊ 推進すべき施策の方針 ＊

● 大雨時における通行ルートの確保 等

【リスクシナリオ】交通ネットワークの機能停止

＊ 推進すべき施策の方針 ＊

● 災害に強い道路ネットワークの形成 等

(1) 上位計画の概要

●長岡市公共施設等総合管理計画(H28～)

策定の目的

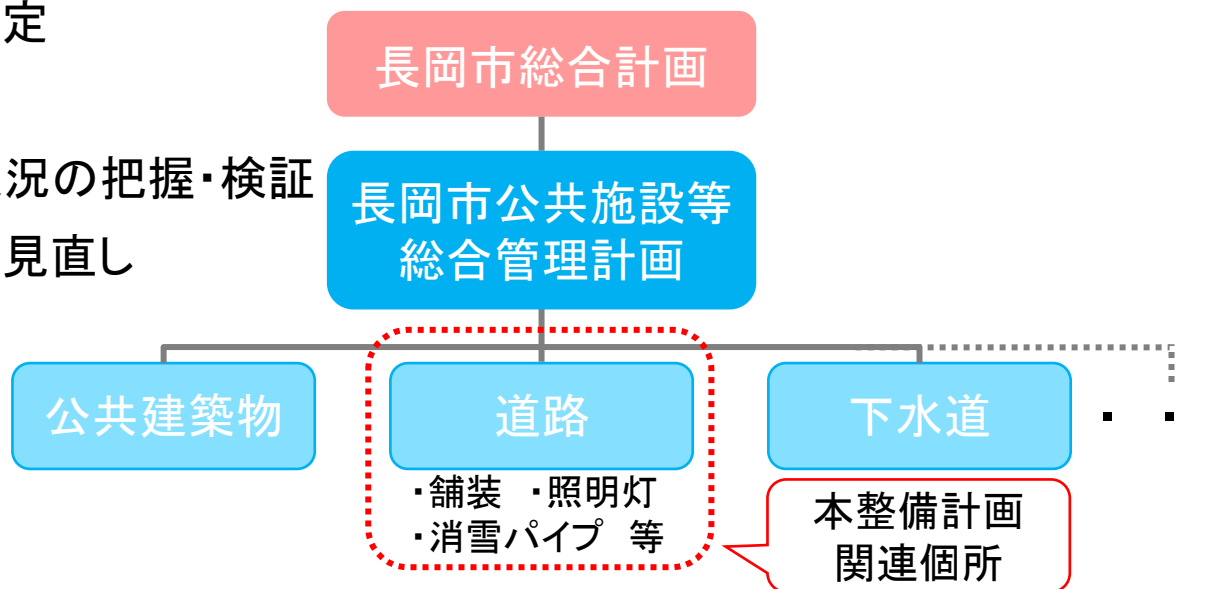
保有する公共施設等を効果的・効率的に活用して、必要な公共サービスを持続的に提供していくため、今後の公共施設等の管理に関する基本的な方針を示すこと。

インフラ施設のマネジメント方針

- (1)老朽化状況を確実に把握
 - (2)事後保全から予防保全に転換
 - (3)施設の更新を行うときは、施設に対するニーズの変化等を踏まえて要否等を検討
- ⇒施設保全の進め方

- P:施設保全計画の策定
- D:施設保全の実施
- C:施設保全の実施状況の把握・検証
- A:施設保全計画等の見直し

▼計画の位置付け



(1) 上位計画の概要

●長岡市地域防災計画(R5年度修正)

策定の目的

災害時に住民の生命、身体および財産を保護することを目的として各災害に対応した対策を定めること。

関連する項目

第4節 防災・安全・安心を目指したまちづくり

【計画の方針】

市及び関係機関は市民との協働の下、幹線道路、公園、河川などの都市基盤整備を進めるとともに、災害への備えを強化した市街地へ住宅、業務、教育、福祉、医療施設等の配置を図るなど、災害に強いまちづくりを目指すこととする。その際、治水・防災・まちづくり・建築を担当する各部局の連携の下、有識者の意見を踏まえ、豪雨、洪水、高潮、土砂災害等に対するリスクの評価について検討する。特に、豪雨や洪水のリスク評価に際しては、浸水深や発生頻度等を踏まえて検討するよう努める。

また、市は、これらの評価を踏まえ、防災・減災目標を設定するよう努める。

【本整備計画に関連する市の責務】

- 降雪に配慮した道路づくりや消・融雪施設の整備等による雪に強い街区の形成
- 道路への防災対策等による強靱で信頼性の高い道路網の整備
- 避難路の整備・確保 等

(2) 本整備計画の概要

計画名称

長岡市の雪や災害に強く安全・安心な道路空間の形成(防災・安全)

計画期間

平成31年度～令和5年度(5年間)

計画目標

雪国の特性に配慮し、災害に強く市民が安全・安心に暮らせる道路空間を確保する。

計画の成果目標(定量的指標)

【指標1】市道の実延長に対する除雪延長割合を維持又は向上

【指標2】市道における交通事故発生件数を減少

【指標3】市道における防災上対策が必要な箇所の完了率を100にする

(2) 本整備計画の概要

●指標の定義及び設定背景

【指標1】市道の実延長に対する除雪延長割合を維持又は向上

【指標の定義】

市道の実延長に対する除雪延長割合＝除雪による延長(※1)/市道の実延長(※2)×100

※1: 除雪による延長＝消雪パイプ整備延長＋機械除雪による延長

※2: 市道認定しているものの、人口減少により、除雪が不要と判断した路線も含まれる

【従前値(H30年度)】

59.4% (除雪による延長:2,086.5km / 市道の実延長:3,511.9km)

【目標値(R5年度)】

59.4%

【設定背景】

- 雪国では、冬期における安全・快適な市民生活の確保には、円滑な道路交通の確保が生命線である。
- 本整備計画では、冬期における除雪対策として消雪パイプの整備と機械除雪の事業を位置付けており、雪国の特性に配慮した道路空間の確保に向けて、これらの事業の効果を計測する必要があると考えた。
- 目標値の設定については、地域の実情を見定めながら除雪の管理水準を維持することを目的とし、計画当初の現況値(H30年度)を維持する方針とした。

(2) 本整備計画の概要

●指標の定義及び設定背景

【指標2】市道における交通事故発生件数を減少

【指標の定義】

市道における交通事故の発生件数の減少

【従前値(H29年度)】

217件

【目標値(R5年度)】

153件

【設定背景】

- 全国的に交通事故発生件数は減少傾向にあり、本市も同様の傾向である。一方、交通事故の約半数は市道で発生しており、生活道路の安全な環境整備が求められている。
- このため、安全で安心して移動できる歩行空間の整備を進め、交通事故を減少させることで、住みよいまちづくりを進める。
- 長年にわたって継続してきた交通インフラ整備の方針を引継ぎ、さらに推進することで、市道で発生する交通事故件数の減少に貢献する。
- 雪国特有の積雪や凍結による路面状態の悪化に起因した、スリップや転倒等の事故防止対策も考慮し、総合的に事業の成果を図るものとして指標2を設定した。

(2) 本整備計画の概要

●指標の定義及び設定背景

【指標3】市道における防災上対策が必要な箇所の完了率を100にする

【指標の定義】

市道における防災上の対策が必要な箇所のうち、5か年（H31年度～R5年度）で対策が必要な箇所の完了率

$$= 5\text{か年で対策が必要な箇所の完了箇所} / 5\text{か年で対策が必要な15箇所} \times 100$$

【従前値（H30年度）】

0%（防災上対策が必要な15事業のうち完了した事業）

【目標値（R5年度）】

100%（15事業の完了）

【設定背景】

- 長岡市では、「長岡市地域防災計画」や「長岡市国土強靱化地域計画」のリスクシナリオに対する分析・評価やの防災対策強化の指針等に基づき、必要な防災対策を実施してきた。
- 上記を受けて、本整備計画で実施する事業のうち、起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を防ぐため、津波避難路の確保や浸水被害等の軽減、大雪への対処に関係する優先順位の高い事業を抽出した。指標3は、防災対策上、早急に実施する必要がある事業の対応状況を測るものとして設定した。

(3) 各事業の内容

●小中学校通学路消雪パイプ新設

【事業概要】※消雪パイプは小・中学校の歩道にのみ新設

No.	要素No.	要素事業名	事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
1	A01-026	1 217号線ほか (東北中学校)	改築	雪寒	消・融雪施設として井戸1本、 散水管L=0.60kmを新設。	東北中学校の通学路において、冬期 間の安全安心を確保するため。
2	A01-031	他 大島38号線ほか (大島小学校)	改築	雪寒	消・融雪施設として井戸1本、 散水管L=0.30kmを新設。	大島小学校の通学路において、冬期 間の安全安心を確保するため。
3	A01-032※	1 東幹線66号線ほか (東中学校)	改築	雪寒	消・融雪施設として井戸1本、 散水管L=0.29kmを新設。	東中学校の通学路において、冬期間 の安全安心を確保するため。
4	A01-035※	1 東幹線36号線 (柿小学校)	改築	雪寒	消・融雪施設として散水管 L=0.14kmを新設。	柿小学校の通学路において、冬期間 の安全安心を確保するため。
5	A01-038※	1 東幹線69号線 (北中学校)	改築	雪寒	消・融雪施設として散水管 L=0.26kmを新設。	北中学校の通学路において、冬期間 の安全安心を確保するため。。
6	A01-043※	1 東幹線72号線 (堤岡中学校)	改築	雪寒	消・融雪施設として井戸1本、 散水管 L=0.20kmを新設。	堤岡中学校の通学路において、冬期 間の安全安心を確保するため。

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●小中学校通学路消雪パイプ新設

【事業費・事業期間】※消雪パイプは小・中学校の歩道にのみ新設

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
1	A01-026	1	217号線ほか (東北中学校)	37,484,620	R1	R2		完了			
2	A01-031	他	大島38号線ほか (大島小学校)	28,902,260	R1	R1	完了				
3	A01-032※	1	東幹線66号線ほか (東中学校)	26,881,800	R2	R2		完了			
4	A01-035※	1	東幹線36号線 (柿小学校)	4,302,100	R3	R3			完了		
5	A01-038※	1	東幹線69号線 (北中学校)	7,935,400	R4	R4				完了	
6	A01-043※	1	東幹線72号線 (堤岡中学校)	22,100,000	R5	R6					継続

完了 計画通りに完了した事業 **継続** 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●小中学校通学路消雪パイプ新設

整備前

A01-038 東幹線69号線(北中学校)

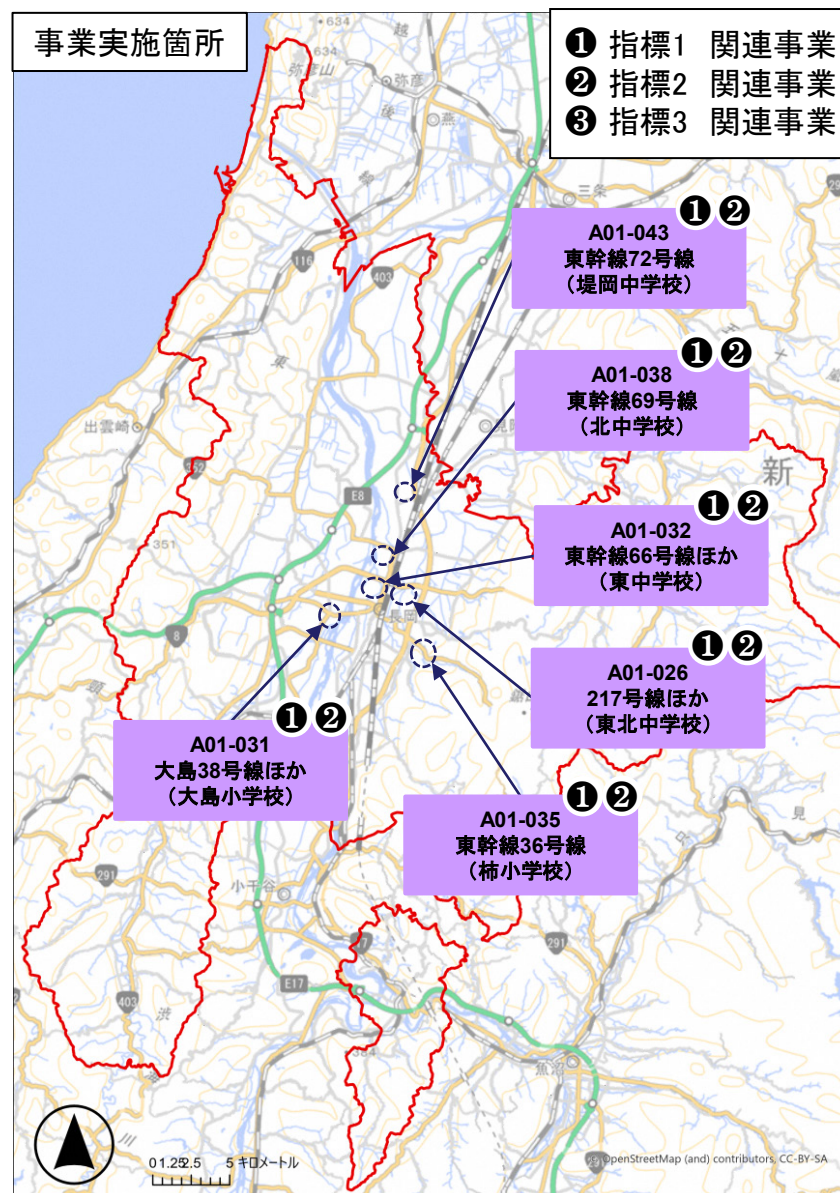


整備後

A01-038 東幹線69号線(北中学校)



事業実施箇所



(3) 各事業の内容

●消雪パイプ更新

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
7	A01-002	1	東幹線25号線ほか	修繕	雪寒	井戸19本、散水管 L=6.30 kmの消・融雪施設更新。 (旧長岡地区)	施設の更新により機能を回復するとともに、地下水利用に配慮した節水対策を取り入れることで、節水と消雪効果の向上を図り、雪に強い町づくりを進める。
8	A01-004	他	小国304号線ほか	修繕	雪寒	L=4.30kmの消・融雪施設更新。 (小国地域)	
9	A01-008	1	中之島754号線ほか	修繕	雪寒	L=1.80kmの消・融雪施設更新。 (中之島地域)	
10	A01-009	他	和島231号線ほか	修繕	雪寒	L=0.57kmの消・融雪施設更新。 (和島地域)	
11	A01-011	1	越路340号線ほか (越路地域)	修繕	雪寒	L=9.20kmの消・融雪施設更新。 (越路地域)	
12	A01-014	他	三島3号線ほか	修繕	雪寒	L=6.90kmの消・融雪施設更新。 (三島地域)	
13	A01-015	2	与板171号線ほか	修繕	雪寒	L=9.00kmの消・融雪施設更新。 (与板地域)	
14	A01-042※	1	東幹線63号線ほか	改築	雪寒	L=6.90km(計画)の消・融雪施設更新。 (旧長岡地区)	

(3) 各事業の内容

●消雪パイプ更新

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
15	A01-044※	1	越路224号線ほか (越路地域)	改築	雪寒	L=16.90kmの消・融雪施設更新。	施設の更新により機能を回復するとともに、地下水利用に配慮した節水対策を取り入れることで、節水と消雪効果の向上を図り、雪に強い町づくりを進める。
16	A01-045※	他	三島217号線ほか	改築	雪寒	L=5.90kmの消・融雪施設更新。	
17	A01-046※	1	小国192号線ほか	改築	雪寒	L=5.40kmの消・融雪施設更新。	
18	A01-047※	1	中之島746号線ほか	改築	雪寒	L=2.10kmの消・融雪施設更新。	
19	A01-049※	1	和島232号線ほか	改築	雪寒	消・融施設更新。	

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●消雪パイプ更新

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
7	A01-002	1	東幹線25号線ほか	737,898,960	R1	R5					完了
8	A01-004	他	小国304号線ほか	362,761,290	R1	R5					完了
9	A01-008	1	中之島754号線ほか	106,426,100	R1	R5					完了
10	A01-009	他	和島231号線ほか	24,076,140	R1	R3			完了		
11	A01-011	1	越路340号線ほか (越路地域)	537,324,700	R1	R5					完了
12	A01-014	他	三島3号線ほか	340,148,600	R1	R5					完了
13	A01-015	2	与板171号線ほか	538,930,400	R1	R5					完了
14	A01-042※	1	東幹線63号線ほか	41,603,300	R5	R10					継続
15	A01-044※	1	越路224号線ほか (越路地域)	114,407,500	R5	R10					継続
16	A01-045※	他	三島217号線ほか	45,747,100	R5	R10					継続
17	A01-046※	1	小国192号線ほか	49,500,000	R5	R10					継続
18	A01-047※	1	中之島746号線ほか	12,628,400	R5	R10					継続
19	A01-049※	1	和島232号線ほか	7,900,000	R5	R7					継続

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

● 消雪パイプ更新

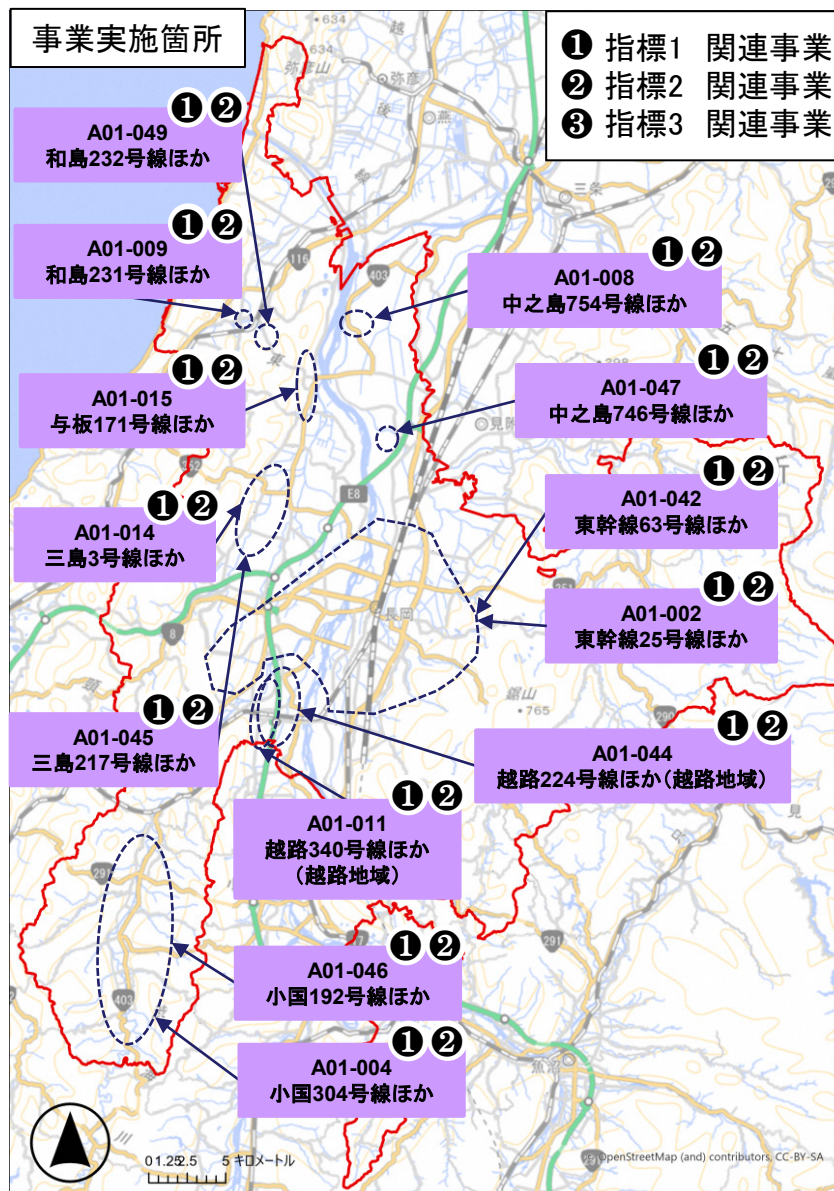
整備前

A01-008 中之島754号線ほか



整備後

A01-008 中之島754号線ほか



(3) 各事業の内容

●除雪機械購入・消雪施設補助・機械除雪

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
20	A01-003	1	東幹線65号線ほか	除雪	雪寒	23台の除雪機械購入。	既存除雪機械の稼働年数の増加による老朽化、急激な降雪による過度な稼働により故障が頻発し、交通確保に支障をきたしている。 市の単費で購入できる経済状況ではないためこれを整備するものである。
21	A01-013	1	西幹線42号線ほか	改築	雪寒	井戸85本、散水管 L=42.15kmの消・融雪施設設置支援。	除雪機械の代替手段として、道路区域内の整備に対する費用を一部補助することで、除雪作業の効率化に加え、冬期間の道路交通を常時確保し、地域経済及び市民生活の安定に寄与する。
22	A01-037※	1	東幹線1号線ほか	除雪	雪寒	L=1,166.92kmの機械による除雪。	降雪による道路交通への障害を迅速かつ適切に排除し、冬期間から春先の経済活動の確保と市民生活の安定を図る。

【事業費・事業期間】

※当初計画から追加となった事業

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
20	A01-003	1	東幹線65号線ほか	457,177,600	R1	R5					完了
21	A01-013	1	西幹線42号線ほか	1,142,202,000	R1	R5					完了
22	A01-037※	1	東幹線1号線ほか	3,990,994,875	R1	R5					完了

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

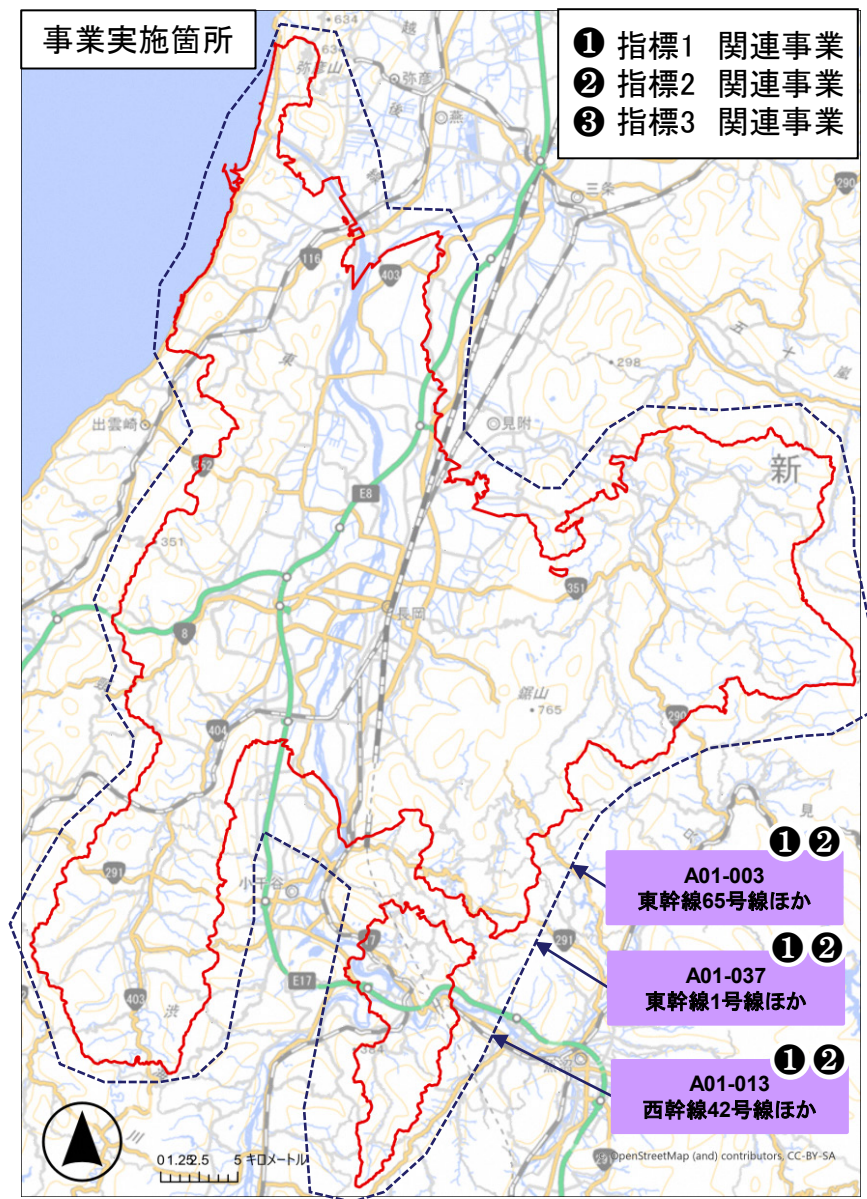
(3) 各事業の内容

● 除雪機械・機械除雪・消雪施設補助

A01-037 東幹線1号線ほか



A01-037 東幹線1号線ほか



(3) 各事業の内容

●照明灯設置

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
23	A01-025	1	西幹線22号線ほか	改築	交通安全 (通学路以外)	1基の道路照明灯の新設。	夜間の安全かつ円滑な通行を確保する。

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
23	A01-025	1	西幹線22号線ほか	950,400	R1	R1	完了				

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

(3) 各事業の内容

● 照明灯設置

整備前

A01-025 西幹線22号線ほか



整備後

A01-025 西幹線22号線ほか



事業実施箇所

薦屋書店
(長岡古正寺店)

②
A01-025
西幹線22号線ほか

ヤマダデンキ
(長岡店)

- ① 指標1 関連事業
- ② 指標2 関連事業
- ③ 指標3 関連事業

古正寺公園



0 100 200 m

(3) 各事業の内容

●歩道舗装

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
24	A01-033※	他	栖吉100号線	改築	交通安全 (通学路以外)	L=0.21kmの歩道舗装。	悠久山公園に隣接している歩道を改善し、歩行者の安全で円滑な移動を確保する。
25	A01-034※	1	東幹線7号線	改築	交通安全 (通学路以外)	L=0.53kmの歩道舗装。	フェニックス大橋に隣接する当該路線の歩道部の段差・勾配等の改善を行い、歩行者の安全で円滑な移動を確保する。

※当初計画から追加となった事業

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
24	A01-033※	他	栖吉100号線	2,363,900	R2	R2		完了			
25	A01-034※	1	東幹線7号線	8,437,000	R2	R2		完了			

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●歩道舗装

整備前

A01-033 栖吉100号線



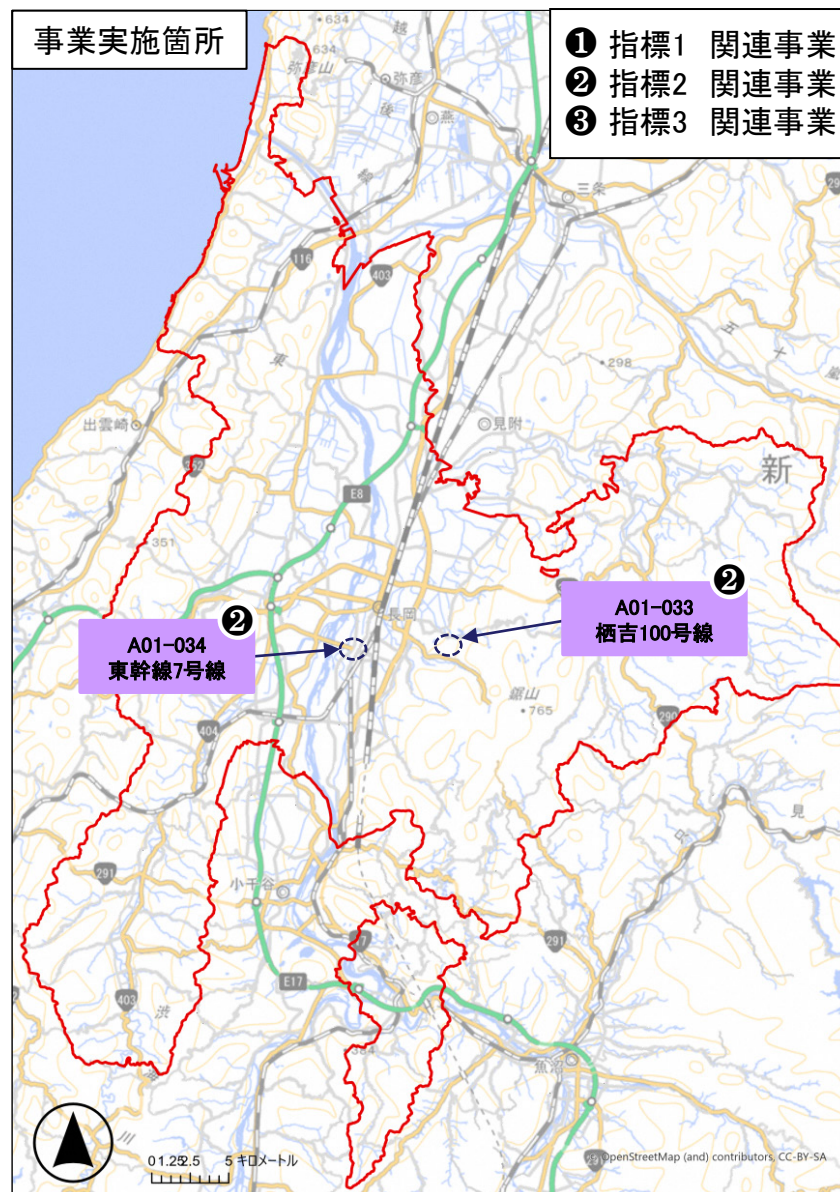
整備後

A01-033 栖吉100号線



事業実施箇所

- ① 指標1 関連事業
- ② 指標2 関連事業
- ③ 指標3 関連事業



(3) 各事業の内容

●歩道整備

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
26	A01-023	2	寺泊136号線	改築	交通安全 (通学路以外)	L=0.56kmの道路改良工事 (歩道整備)。	集落から駅までの利便性の向上に寄与し、歩行者の安全性と交通ネットワークを向上させる。

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
26	A01-023	2	寺泊136号線	150,559,900	R1	R4				完了	

完了 計画通りに完了した事業 **継続** 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

(3) 各事業の内容

●歩道整備

整備前

A01-023 寺泊136号線



整備後

A01-023 寺泊136号線



事業実施箇所

- ① 指標1 関連事業
- ② 指標2 関連事業
- ③ 指標3 関連事業



(3) 各事業の内容

●歩道改良

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
27	A01-036※	1	東幹線20号線	改築	交通安全 (通学路以外)	L=0.14kmの県道滝谷三和線と県道南長岡停車場線を結ぶ幹線道路の一部狭小区間の歩道改良工事。	一部歩道幅員が狭小になっており通行等に支障をきたしている。歩行者の安心・安全な歩行空間を確保し、雪や災害に強く安心・安全に暮らせる地域の形成に寄与する。

【事業費・事業期間】

※当初計画から追加となった事業

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
27	A01-036※	1	東幹線20号線	11,708,400	R3	R3			完了		

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●歩道改良

整備前

A01-036 東幹線20号線



整備後

A01-036 東幹線20号線



事業実施箇所



(3) 各事業の内容

●自転車歩行者専用道路の整備

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
28	A01-001	他	869号線	改築	自転車対策	L=0.90kmの長岡駅東口と悠久山風致地区を直結する自転車歩行者専用道路を整備。	悠久山公園に隣接している歩道を改善し、歩行者の安全で円滑な移動を確保する。

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
28	A01-001	他	869号線	52,515,200	H24	R3			完了		

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

(3) 各事業の内容

● 自転車歩行者専用道路の整備

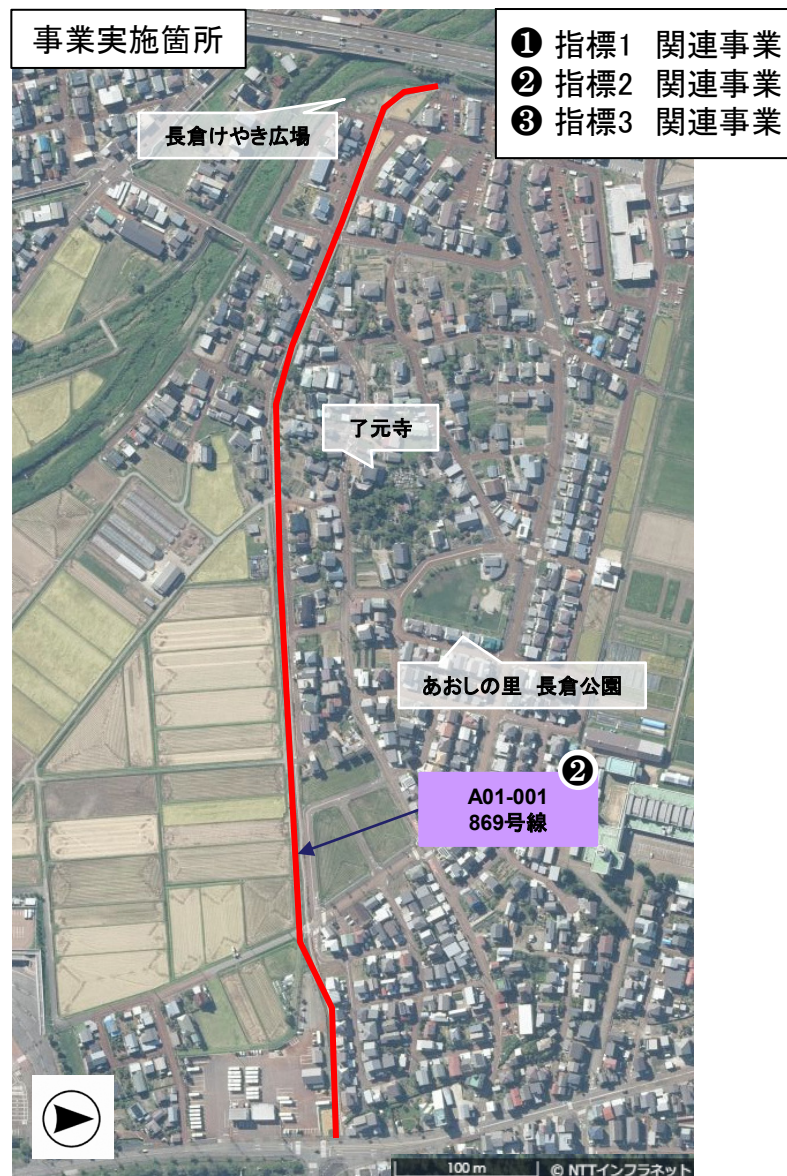
整備前

A01-001 869号線



整備後

A01-001 869号線



(3) 各事業の内容

●自転車走行空間の整備

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
29	A01-010	1	東幹線20号線ほか (自転車走行空間 整備事業)	改築	自転車対策	L=8.8kmの自転車走行空間整備。	歩道における歩行者の安心・安全な歩行空間確保、自転車利用者の安全で快適な自転車走行空間を確保する。

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
29	A01-010	1	東幹線20号線ほか (自転車走行空間 整備事業)	16,806,900	H27	R5					完了

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

(3) 各事業の内容

● 自転車走行空間の整備

整備前

A01-010 東幹線20号線ほか
(自転車走行空間整備事業)



整備後

A01-010 東幹線20号線ほか
(自転車走行空間整備事業)



事業実施箇所



(3) 各事業の内容

●交差点改良

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
30	A01-030	他	川口338号線ほか (川口小学校)	改築	交通安全 (通学路以外)	L=0.13kmの交差点改良整備。	視距の改良による交通事故防止効果、通学路等の生活空間における交通安全対策推進に寄与する。

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
30	A01-030	他	川口338号線ほか (川口小学校)	11,052,402	R1	R5					完了

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

(3) 各事業の内容

● 交差点改良

整備前

A01-030 川口338号線ほか
(川口小学校)



整備後

A01-030 川口338号線ほか
(川口小学校)



事業実施箇所

- ① 指標1 関連事業
- ② 指標2 関連事業
- ③ 指標3 関連事業

山の相川団地会館

②

A01-030
川口338号線ほか
(川口小学校)

小高集会所



0 100 200 m

(3) 各事業の内容

●舗装点検

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
31	A01-007	—	道路ストック総点検事業(舗装)	点検	老朽化	L=881.00kmの舗装点検。	長岡市の舗装の長寿命化修繕計画を策定し、それに基づく点検を実施することで、道路利用者の安全を図る。

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
31	A01-007	—	道路ストック総点検事業(舗装)	1,485,000	R1	R1	完了				

完了 計画通りに完了した事業 **継続** 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

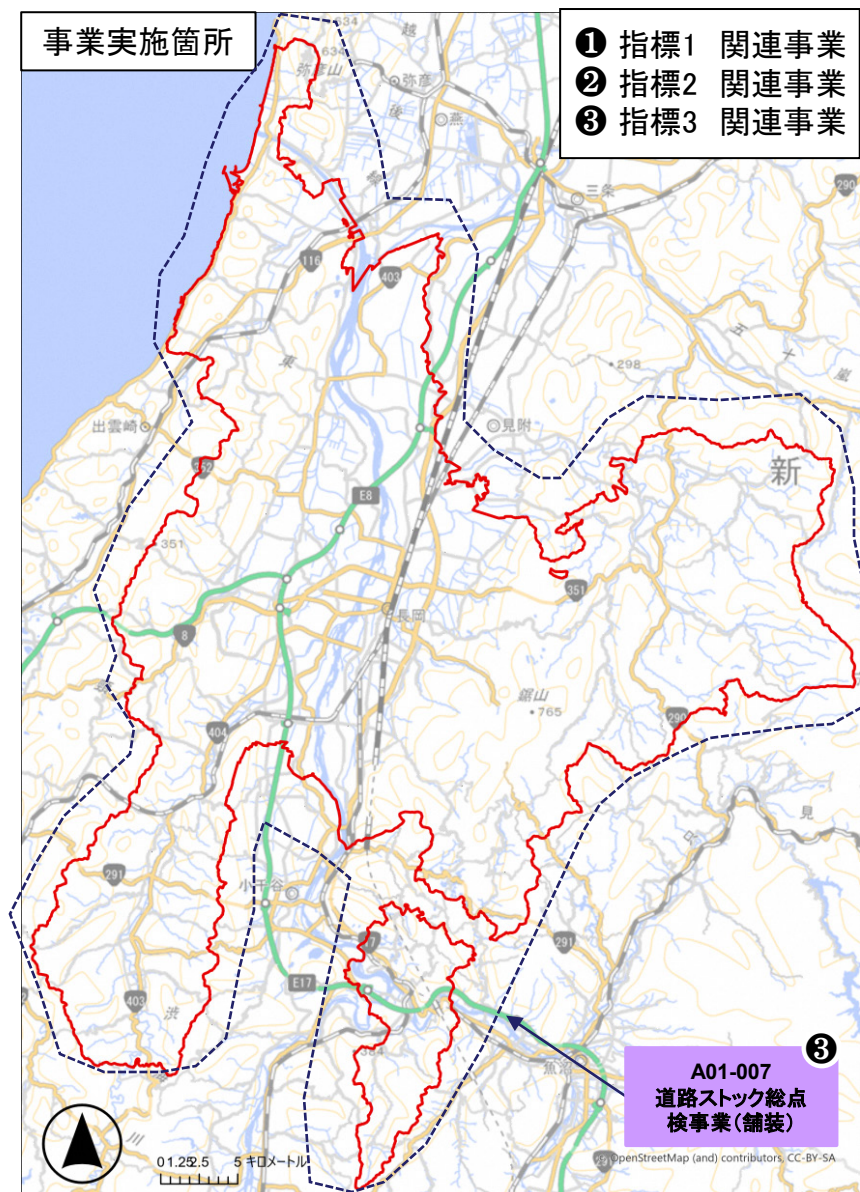
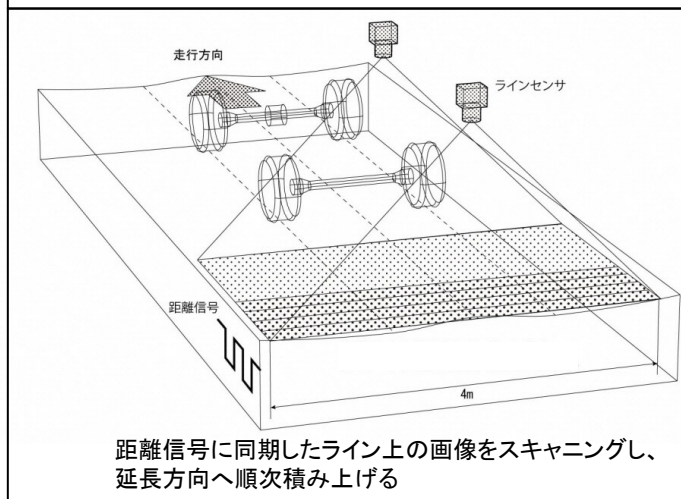
(3) 各事業の内容

● 舗装点検

A01-007 道路ストック総点検事業(舗装)



【舗装点検の一例】ひび割れの測定方法



(3) 各事業の内容

●舗装修繕

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
32	A01-019	1	中之島760号線ほか	修繕	老朽化	L=2.70kmの舗装修繕。	舗装長寿命化修繕計画に基づき補修し、安心・安全な生活基盤を確保する。
33	A01-020	他	944号線ほか	修繕	老朽化	L=3.00kmの舗装修繕。	
34	A01-021	他	与板171号線ほか	修繕	老朽化	L=0.80kmの舗装修繕。	
35	A01-027	1	越路800号線ほか	修繕	老朽化	L=1.50kmの舗装修繕。	
36	A01-048※	1	東幹線70号線ほか	修繕	老朽化	L=5.00kmの舗装修繕。	

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●舗装修繕

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
32	A01-019	1	中之島760号線ほか	190,361,620	R1	R5					完了
33	A01-020	他	944号線ほか	258,982,620	H30	R4				完了	
34	A01-021	他	与板171号線ほか	44,404,800	R1	R5					完了
35	A01-027	1	越路800号線ほか	59,404,800	R1	R4				完了	
36	A01-048※	1	東幹線70号線ほか	27,817,900	R5	R10					継続

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

● 舗装修繕

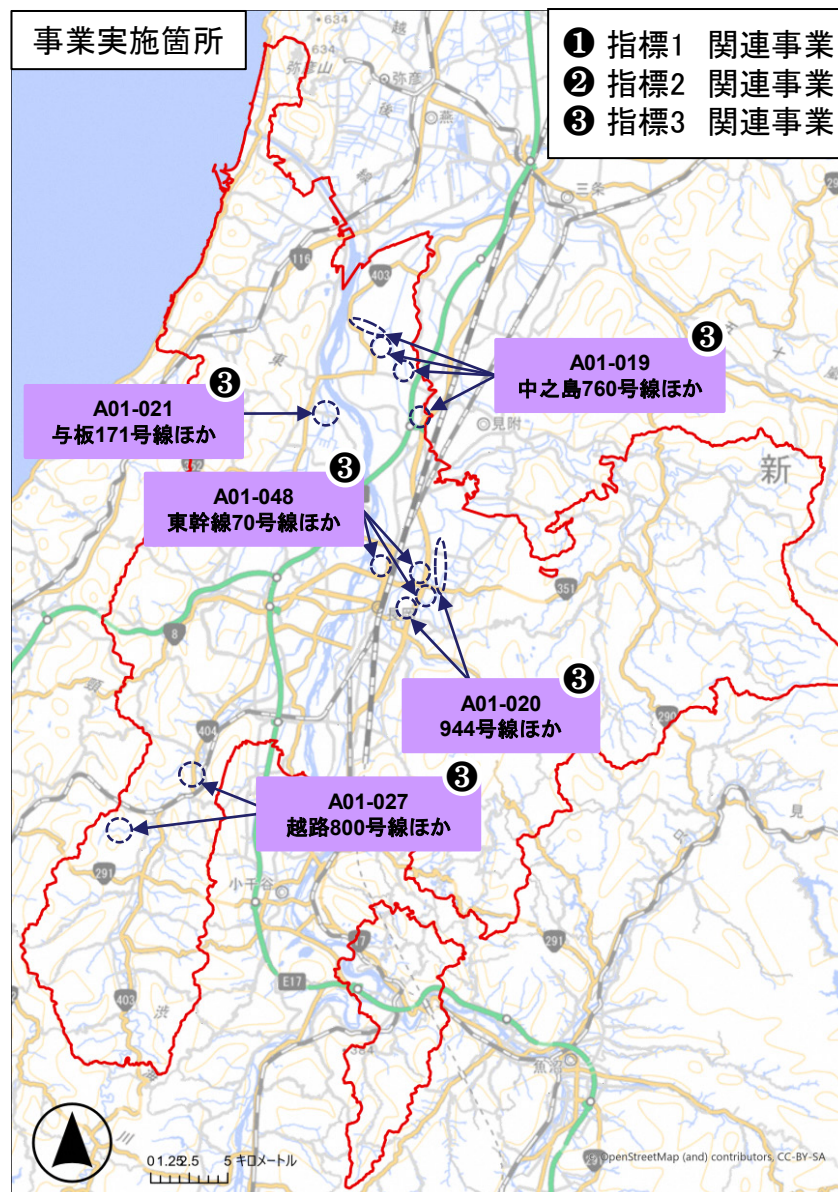
整備前

A01-021 与板171号線ほか(舗装修繕)



整備後

A01-021 与板171号線ほか(舗装修繕)



(3) 各事業の内容

●避難路

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
37	A01-016	1	寺泊134号線	改築	その他	L=2.20kmの地域防災計画に指定された津波避難路道路改良。	地域防災計画に指定された当該路線を津波避難路として整備することで、迅速な避難を可能にし、災害に強く安心・安全に暮せる道路ネットワークの確立に寄与する。
38	A01-017	他	寺泊634号線ほか	改築	その他	L=0.28kmの地域防災計画に指定された津波避難路道路改良。	
39	A01-024	他	寺泊61号線	改築	その他	L=2.20kmの地域防災計画に指定された津波避難路道路改良。	
40	A01-039※	2	西幹線41号線ほか	改築	その他	L=0.51kmの地域防災計画に指定された広域防災拠点までの避難路歩道整備。	広域防災拠頭に位置付けられた国営越後丘陵公園までの歩道を整備することで安全な避難路を確保し、災害に強く安心・安全に暮らせる道路ネットワークの確立に寄与する。
41	A01-040※	2	二和161号線	新設	その他	L=0.50kmの垂直避難路線新設。	一級河川黒川の水位上昇時に、宮本地区住民の高台への迅速な避難を可能にし、災害に強く安心・安全に暮らせる道路ネットワークの確立に寄与する。

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●避難路

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
37	A01-016	1	寺泊134号線	198,181,670	R1	R5					完了
38	A01-017	他	寺泊634号線ほか	136,100,009	H30	R1	完了				
39	A01-024	他	寺泊61号線	58,924,908	R1	R6					継続
40	A01-039※	2	西幹線41号線ほか	3,786,886	R4	R7					継続
41	A01-040※	2	二和161号線	97,028,550	R4	R8					継続

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●避難路

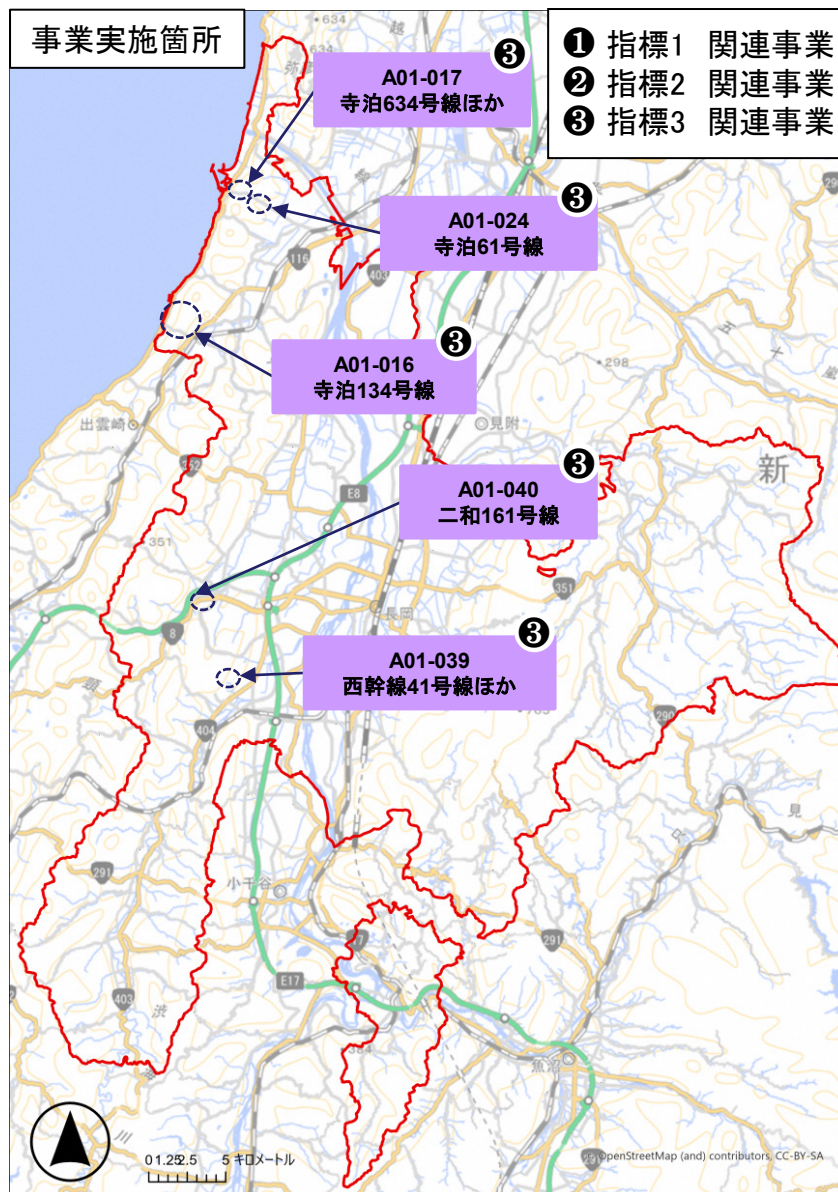
整備前

A01-017 寺泊634号線ほか



整備後

A01-017 寺泊634号線ほか



(3) 各事業の内容

●冠水対策

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
42	A01-018	他	和島319号線ほか	改築	防災・震災	L=0.49kmの道路改良。	安全な通行を確保するために、道路冠水対策をし、災害に強く安全・安心なまちづくりを進める。
43	A01-022	他	日越159号線(アンダーパス)	改築	防災・震災	冠水時のアンダーパス部への進入を防止するための自動遮断器等施設1箇所設置。	
44	A01-028	他	三島144号線ほか	改築	防災・震災	L=2.10kmの側溝整備。	
45	A01-029	他	533号線ほか	改築	防災・震災	L=0.20kmの側溝整備。	
46	A01-041※	他	和島359号線	改築	防災・震災	L=0.09kmの道路改良。	

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●冠水対策

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
42	A01-018	他	和島319号線ほか	49,277,750	H30	R3			完了		
43	A01-022	他	日越159号線 (アンダーパス)	17,088,500	R1	R3			完了		
44	A01-028	他	三島144号線ほか	136,692,586	R1	R5					完了
45	A01-029	他	533号線ほか	15,065,600	R1	R3			完了		
46	A01-041※	他	和島359号線	1,474,000	R5	R5					完了

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

●冠水対策

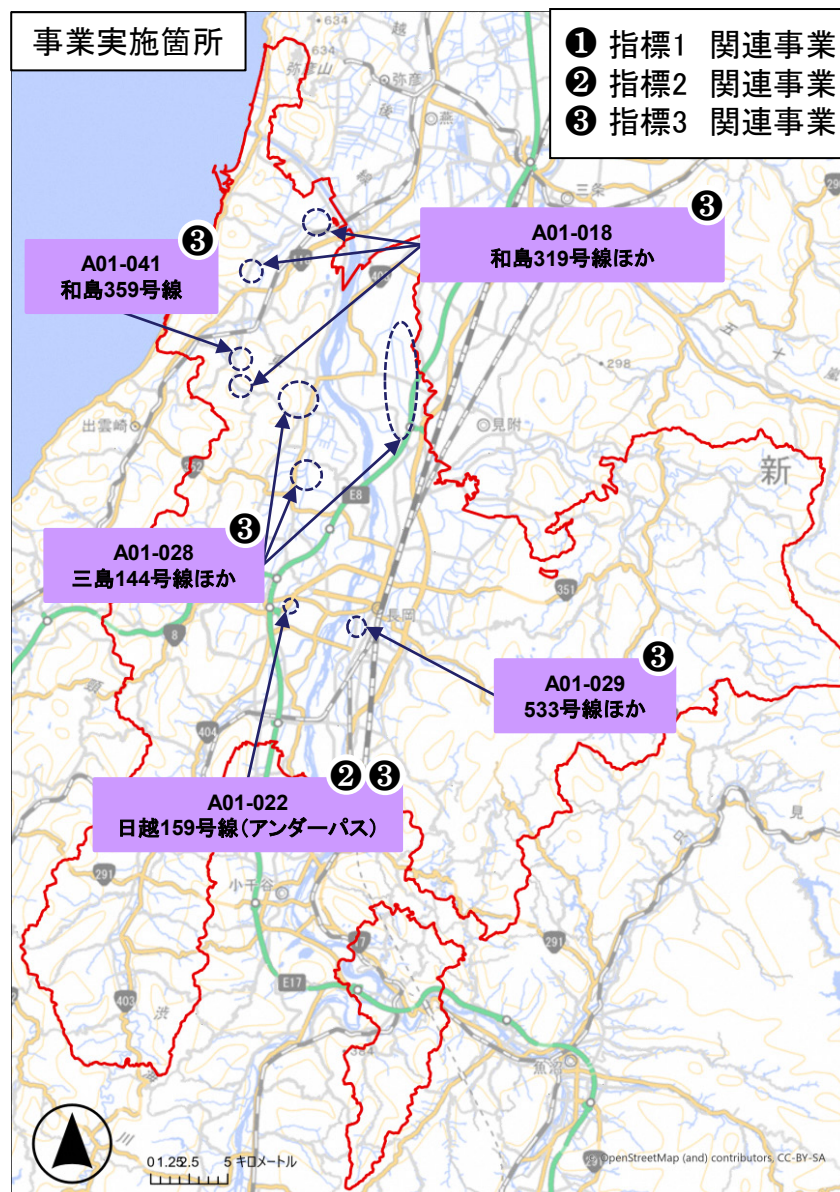
整備前

A01-028 三島144号線ほか



整備後

A01-028 三島144号線ほか



(3) 各事業の内容

●街路樹

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
47	A01-006	1	西幹線44号線ほか	修繕	老朽化	浮根を防止する街路樹の更新とそれに伴う歩道舗装面の修繕617箇所。	緊急時に一時避難地となる学校や公園への徒歩避難経路となっているが、歩道舗装表面が街路樹の浮根等により凹凸や、ひび割れが激しく、歩行者の通行上支障になっている。修繕により歩行者の安全性及び利便性を確保する。
48	A01-050※	1	東幹線66号線ほか	修繕	老朽化	浮根を防止する街路樹の更新とそれに伴う歩道舗装面の修繕85箇所。	

【事業費・事業期間】

※当初計画から追加となった事業

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
47	A01-006	1	西幹線44号線ほか	239,495,900	R1	R5					完了
48	A01-050※	1	東幹線66号線ほか	30,379,600	R5	R10					継続

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

※当初計画から追加となった事業

(3) 各事業の内容

● 街路樹

整備前

A01-006 西幹線44号線ほか



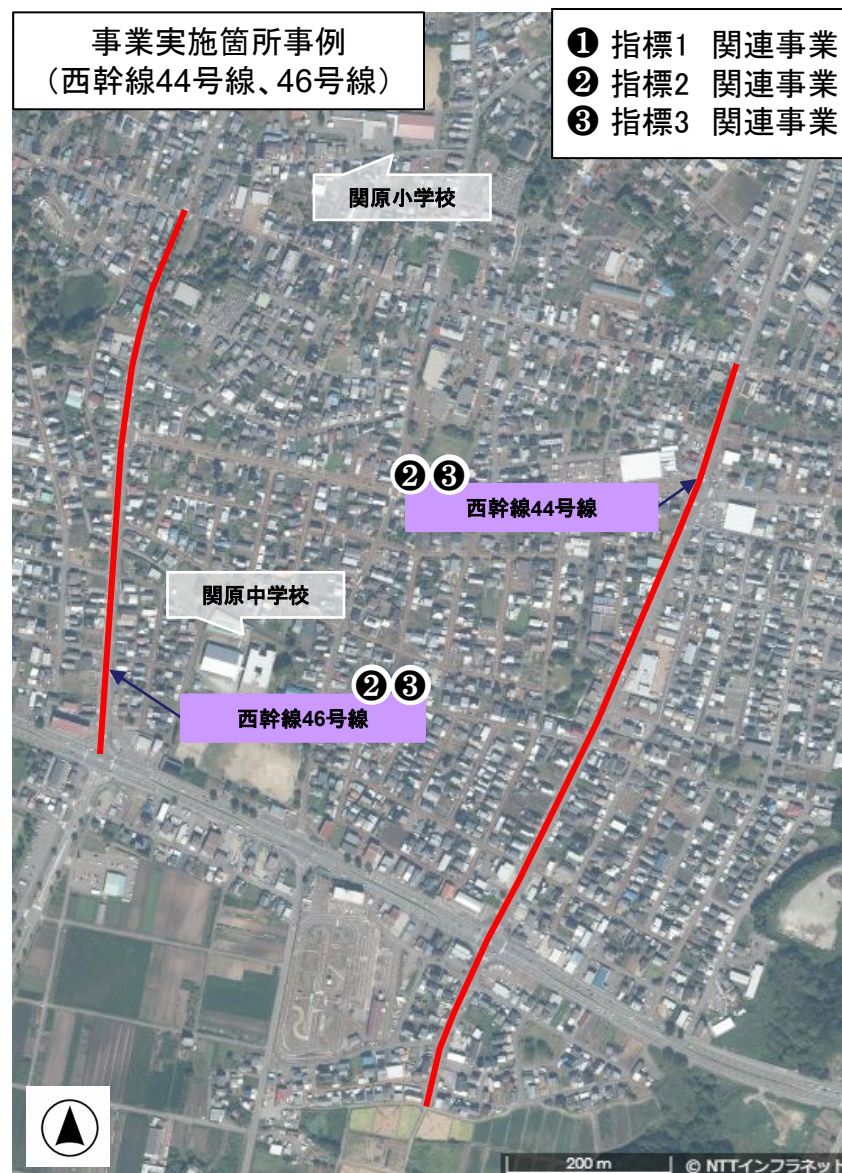
整備後

A01-006 西幹線44号線ほか



事業実施箇所事例
(西幹線44号線、46号線)

- ① 指標1 関連事業
- ② 指標2 関連事業
- ③ 指標3 関連事業



(3) 各事業の内容

●雪崩対策施設

【事業概要】

No.	要素No.	要素事業名		事業分類	施策分類	事業内容	事業目的
49	A01-005	他	川口53号線ほか	改築	雪寒	雪崩対策施設1箇所整備。	県内有数の豪雪地帯となるため、雪に強い地域づくりの一環として、雪崩による道路の閉鎖や自動車が埋没する事故等が発生した箇所に雪崩対策施設を整備する。
50	A01-012	1	東幹線28号線	雪寒	雪寒	雪崩予防柵1基新設。	過去2年連続で雪崩が発生し、一時的に交通傷害を引き起こしている。冬期間の交通の安全性を確保する。

【事業費・事業期間】

No.	要素No.	要素事業名		事業費(円)	事業期間(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
49	A01-005	他	川口53号線ほか	57,666,522	H26	R2		完了			
50	A01-012	1	東幹線28号線	33,867,900	H29	R2		完了			

完了 計画通りに完了した事業

継続 計画でR5年度以降も継続する想定であった事業

事業期間中

(3) 各事業の内容

●雪崩対策施設

整備前

A01-005 川口53号線ほか



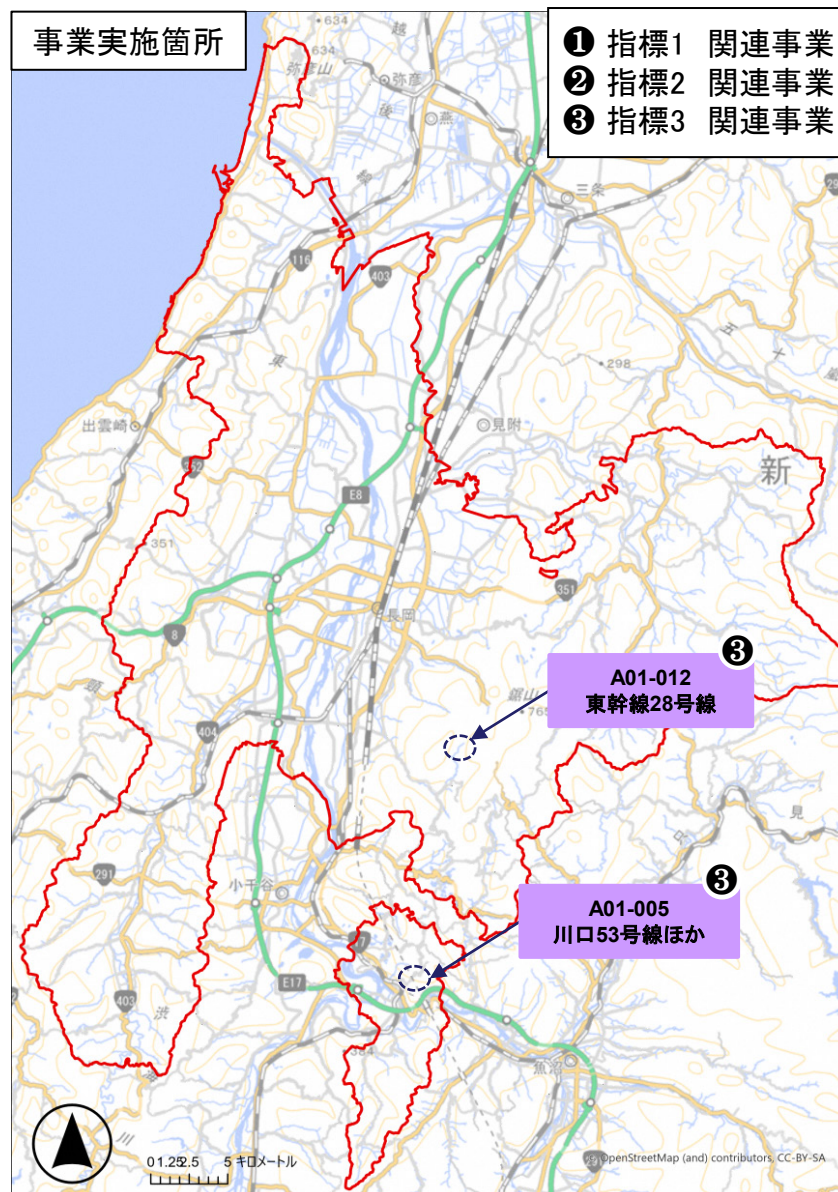
整備後

A01-005 川口53号線ほか



事業実施箇所

- ① 指標1 関連事業
- ② 指標2 関連事業
- ③ 指標3 関連事業



質 疑

2.事後評価にかかる審議

(1) 成果の達成度評価

●数値指標の結果

指標名	単位	従前値	目標値 (R5)	評価値 (R5)	達成度
【指標1】 市道の実延長に対する除雪延長 割合を維持又は向上	%	59.4 (H30)	59.4	60.0 (確定値)	○
【指標2】 市道における交通事故発生件数を 減少	件	217 (H29)	153	111 (確定値)	○
【指標3】 市道における防災上対策が必要な 箇所の完了率を100にする	%	0 (H30)	100	100 (確定値)	○

達成度

○ 評価値が目標値を上回った場合。

△ 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合。

× 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合。

(1) 成果の達成度評価

【指標1】市道の実延長に対する除雪延長割合を維持又は向上

確定値

従前値(H30)	目標値(R5)
59.4%	59.4%

評価値(R5)
60.0%



- 市道の実延長に対する除雪延長割合については、向上することができた。

▼機械除雪と消雪パイプの整備状況

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
機械除雪(km)	1,346.1	1,335.2	1,334.8	1,320.4	1,317.6	1,315.5
消雪パイプ(km)	740.4	763.2	766.2	771.3	773.9	779.9
除雪延長(km) (機械除雪+消雪パイプ)	2,086.5	2,098.4	2,101.0	2,091.7	2,091.5	2,095.4

▼市道実延長と除雪延長の割合

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
市道実延長(km)	3,511.9	3,498.0	3,500.0	3,497.5	3,489.0	3,491.0
除雪延長(km)	2,086.5	2,098.4	2,101.0	2,091.7	2,091.5	2,095.4
除雪率(%) (除雪延長/市道実延長)	59.4	60.0	60.0	59.8	59.9	60.0

(1) 成果の達成度評価

【指標2】市道における交通事故発生件数を減少

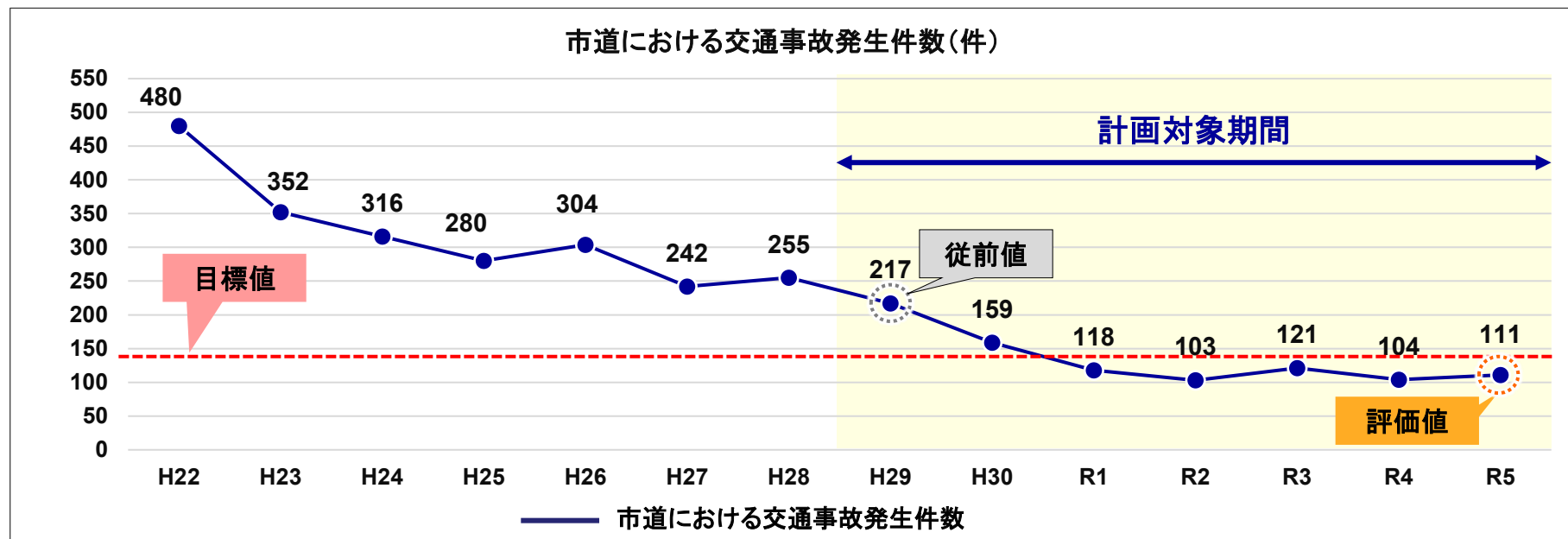
確定値

従前値(H29)	目標値(R5)
217件	153件

評価値(R5)
111件

達成度
○

- 市道における交通事故発生件数は、H22年度～H29年度は200件を上回っていた。しかし、継続的な道路整備により、事故件数が減少し、R1年度には目標である153件を下回り、それ以降同水準を維持し続けている。



(出典:長岡市統計年鑑)

(1) 成果の達成度評価

【指標3】市道における防災上対策が必要な箇所の完了率を100にする

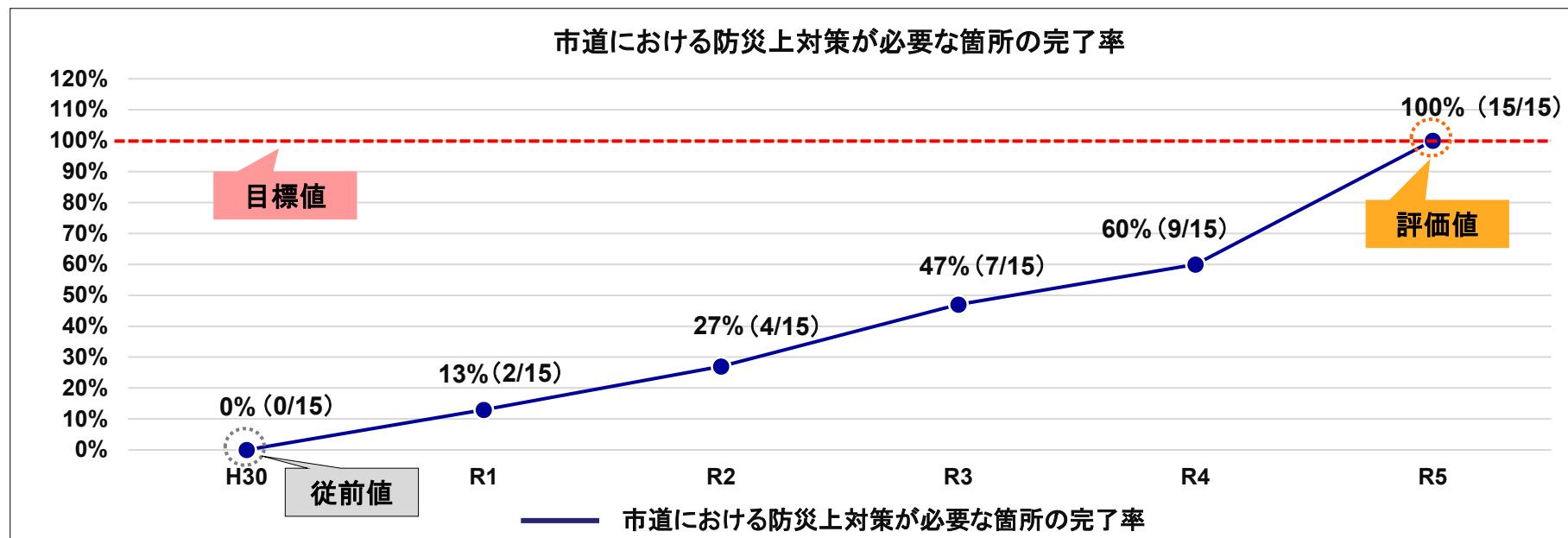
確定値

従前値 (H30)	目標値 (R5)
0%	100%

評価値 (R5)
100%



- 当初予定していた15事業(A01-001～A01-031の事業)を分母とし、完了率を算出した。なお、計画期間中に5事業を追加し、最終的には20事業が指標3の評価対象となっている。
- 当初予定していたA01-024「寺泊61号線」が継続事業となっているものの、追加事業であるA01-041「和島359号線」を優先的に実施し、当該の追加事業が完了しているため、評価値を100%とした。



(2) 事業の効果発現要因

No.	要素No.	要素事業名		事業概要	【指標1】 市道の実延長に対する 除雪延長割合を維持又は 向上	【指標2】 市道における交通事故 発生件数を減少	【指標3】 市道における防災上 対策が必要な箇所の 完了率を100にする
1	A01-026	1	217号線ほか (東北中学校)	小中学校通学路 消雪パイプ新設	◎	○(冬期)	—
2	A01-031	他	大島38号線ほか (大島小学校)	小中学校通学路 消雪パイプ新設	◎	○(冬期)	—
3	A01-032※	1	東幹線66号線ほか (東中学校)	小中学校通学路 消雪パイプ新設	◎	○(冬期)	—
4	A01-035※	1	東幹線36号線 (柿小学校)	小中学校通学路 消雪パイプ新設	◎	○(冬期)	—
5	A01-038※	1	東幹線69号線 (北中学校)	小中学校通学路 消雪パイプ新設	◎	○(冬期)	—
6	A01-043※	1	東幹線72号線 (堤岡中学校)	小中学校通学路 消雪パイプ新設	◎	○(冬期)	—
7	A01-002	1	東幹線25号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
8	A01-004	他	小国304号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
9	A01-008	1	中之島754号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
10	A01-009	他	和島231号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
11	A01-011	1	越路340号線ほか (越路地域)	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
12	A01-014	他	三島3号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
13	A01-015	2	与板171号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—

※A01-032～A01-050は当初計画から追加となった事業

◎ 指標の改善に直接的に関係

○ 指標の改善に間接的に関係

— 事業と指標の間に関係が無い

(2) 事業の効果発現要因

No.	要素No.	要素事業名		事業概要	【指標1】 市道の実延長に対する 除雪延長割合を維持又は 向上	【指標2】 市道における交通事故 発生件数を減少	【指標3】 市道における防災上 対策が必要な箇所の 完了率を100にする
14	A01-042※	1	東幹線63号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
15	A01-044※	1	越路224号線ほか (越路地域)	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
16	A01-045※	他	三島217号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
17	A01-046※	1	小国192号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
18	A01-047※	1	中之島746号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
19	A01-049※	1	和島232号線ほか	消雪パイプ更新	◎	○(冬期)	—
20	A01-003	1	東幹線65号線ほか	除雪機械購入	◎	○(冬期)	—
21	A01-013	1	西幹線42号線ほか	消雪施設補助	◎	○(冬期)	—
22	A01-037※	1	東幹線1号線ほか	機械除雪	◎	○(冬期)	—
23	A01-025	1	西幹線22号線ほか	照明灯設置	—	◎	—

※A01-032～A01-050は当初計画から追加となった事業

(2) 事業の効果発現要因

No.	要素No.	要素事業名		事業概要	【指標1】 市道の実延長に対する 除雪延長割合を維持又は 向上	【指標2】 市道における交通事故 発生件数を減少	【指標3】 市道における防災上 対策が必要な箇所の 完了率を100にする
24	A01-033※	他	栖吉100号線	歩道舗装	—	◎	—
25	A01-034※	1	東幹線7号線	歩道舗装	—	◎	—
26	A01-023	2	寺泊136号線	歩道整備	—	◎	—
27	A01-036※	1	東幹線20号線	歩道改良	—	◎	—
28	A01-001	他	869号線	自転車歩行者専用 道路の整備	—	◎	—
29	A01-010	1	東幹線20号線ほか (自転車走行空間 整備事業)	自転車走行空間の 整備	—	◎	—
30	A01-030	他	川口338号線ほか (川口小学校)	交差点改良	—	◎	—
31	A01-007	—	道路ストック総点検 事業(舗装)	舗装点検	—	—	◎
32	A01-019	1	中之島760号線ほか	舗装修繕	—	—	◎
33	A01-020	他	944号線ほか	舗装修繕	—	—	◎
34	A01-021	他	与板171号線ほか	舗装修繕	—	—	◎
35	A01-027	1	越路800号線ほか	舗装修繕	—	—	◎
36	A01-048※	1	東幹線70号線ほか	舗装修繕	—	—	◎

※A01-032～A01-050は当初計画から追加となった事業

◎ 指標の改善に直接的に関係

○ 指標の改善に間接的に関係

— 事業と指標の間に関係が無い

(2) 事業の効果発現要因

No.	要素No.	要素事業名		事業概要	【指標1】 市道の実延長に対する 除雪延長割合を維持又は 向上	【指標2】 市道における交通事故 発生件数を減少	【指標3】 市道における防災上 対策が必要な箇所の 完了率を100にする
37	A01-016	1	寺泊134号線	避難路	—	—	◎
38	A01-017	他	寺泊634号線ほか	避難路	—	—	◎
39	A01-024	他	寺泊61号線	避難路	—	—	◎
40	A01-039※	2	西幹線41号線ほか	避難路	—	—	◎
41	A01-040※	2	二和161号線	避難路	—	—	◎
42	A01-018	他	和島319号線ほか	冠水対策	—	—	◎
43	A01-022	他	日越159号線(アン ダーパス)	冠水対策	—	○	◎
44	A01-028	他	三島144号線ほか	冠水対策	—	—	◎
45	A01-029	他	533号線ほか	冠水対策	—	—	◎
46	A01-041※	他	和島359号線	冠水対策	—	—	◎
47	A01-006	1	西幹線44号線ほか	街路樹	—	○	◎
48	A01-050※	1	東幹線66号線ほか	街路樹	—	○	◎
49	A01-005	他	川口53号線ほか	雪崩対策施設	—	—	◎
50	A01-012	1	東幹線28号線	雪崩対策施設	—	—	◎

※A01-032～A01-050は当初計画から追加となった事業

◎ 指標の改善に直接的に関係

○ 指標の改善に間接的に関係

— 事業と指標の間に関係が無い

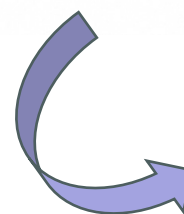
(3) 定量的指標以外の交付対象事業の効果

- 消雪パイプを更新する際に、従来の鋼管から軽量で腐食に強い硬質ポリ塩化ビニル管に変更することで、耐用年数が20年から50年に延びた。そのため、ライフサイクルコストが削減され、財政面の負担軽減に貢献した。
- 消雪パイプの制御について、降雪の強度に応じてポンプの回転数を制御し、降雪量に合わせた水量のみを散水する地下水節水型消雪制御システムや降雪状況に応じて水量を三段階変更できる間欠式運転方式を導入することで、消雪パイプによる地下水の過剰揚水とそれに伴う地盤沈下を抑制している。

▼市内の設置実績

単位: 件

年度	地下水節水型 消雪制御 システム		間欠式運転方式		計
	新設	更新	新設	更新	
R1年度	2	11	0	20	33
R2年度	1	7	0	13	21
R3年度	0	4	0	9	13
R4年度	0	0	0	12	12
R5年度	0	7	0	13	20



▲システムのイメージ

(画像出典: 長岡市HP「消雪パイプと地下水」)

(4) その他関連事業

事業名	除雪稼働管理システム構築事業
交付制度	デジタル田園都市国家構想交付金 (デジタル実装タイプ)
事業概要	
長岡市では、冬期交通の確保のため、最大で1日当たり400台以上の除雪車が稼働することになる。そのため、除雪車の効率的な稼働記録および運行情報の管理が課題となっている。本事業では、除雪車に通信機能付き稼働記録装置を搭載し、除雪稼働管理システムにて稼働記録と運行情報を一元管理することで、作業の効率化を行った。その結果、稼働状況処理にかかる市職員の稼働時間が77%削減された。	
事業の効果	
● 従来は除雪車に取り付けられているIC・SDカードを除雪本部に持ち込む形でデータ管理をしていたが、データを通信で送信するシステムになったことで、作業工程を削減でき、市職員、除雪業者の負担の軽減、労働環境の改善につながった。 ● 取得データを元に市民からの要望を踏まえ運行ルートを見直すことで柔軟で迅速な除雪対応を実現した。	
事業の課題	
● GPSや通信トラブルへの対処が不十分である。 ● 除雪担当職員とのコミュニケーションの機会が減り、細かな相談がしづらくなったという意見があった。	

除雪車への稼働記録装置の搭載



キャビン内



除雪ドーザ

審 議

(意見聴取①)

3. 今後の社会資本整備の方策にか かかる審議

(1) 今後の社会資本整備の方策

●除雪関連事業

事業前の課題

雪国の特性に配慮し、災害に強く市民が安全・安心に暮らせる道路空間を確保する。

達成されたこと(効果)／残された課題		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
達成されたこと	● 機械除雪と消雪パイプを組み合わせ、地域の実情に合わせた除雪計画により、冬期の円滑な交通確保が図られた。 ● 耐久性の高い資材や節水型ポンプの導入による消雪パイプの更新により、ライフサイクルコストの減少による財政面の負担減や消雪パイプによる地盤沈下の抑制に寄与した。 ● 老朽化や過度な稼働により故障が頻発していた除雪機械を更新することで、安定的な機械除雪を維持した。	● 生活道路として重要な路線の除雪体制を維持し、計画的な除雪を継続していく。(IoT等の新技術を導入し、除雪業務の効率化を実施する。) ● 消・融雪施設を継続して更新し、耐用年数がより長くなる設備設計を行う等、ライフサイクルコストを考慮した事業を実施する。 ● 市道を除雪する企業の従業員等に対し、資格取得にかかる費用の補助を実施する。	● 除雪・春先除雪 ● 除雪機械購入 ● 消・融雪施設更新(小中学校通学路の一部については歩道の消雪パイプの設置) ● 消・融雪施設設置支援 ● 除雪オペレータ人材確保・育成支援事業補助金
残された課題	● 除雪業務の効率化や消・融雪施設の長寿命化を引き続き実現し、財政的な負担を軽減する必要がある。 ● 除雪事業者が高齢化しており、安定的な機械除雪の維持に向けて、人材を確保する必要がある。		

(1) 今後の社会資本整備の方策

●交通安全関連事業

事業前の課題 雪国の特性に配慮し、災害に強く市民が安全・安心に暮らせる道路空間を確保する。

達成されたこと(効果)／残された課題		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
達成されたこと	● 歩道や自転車歩行者専用道路等の修繕・整備を実施することで、歩行者の安全な通行の確保や生活利便性の向上に寄与した。 ● 「長岡市自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車走行空間を整備することで、自転車の利便性・安全性を向上させつつ、近年社会問題となっている歩道内における自転車と歩行者との交通事故を抑止した。 ● 夜間事故多発箇所へ照明灯を設置することで、夜間の道路空間の安全性を確保した。	● 「長岡市自転車ネットワーク計画」に基づき自転車走行空間の整備を実施する。 ● 「長岡市通学路交通安全プログラム」と合わせて本計画において交通安全対策を引き続き実施する。 ● 市民から要望を踏まえ、警察と連携し道路施設の整備を引き続き実施する。	● 自転車走行空間整備 ● 交差点改良 ● 歩道修繕・整備
残された課題	● 交通事故の恐れのある危険箇所について、照明灯や横断歩道等の道路施設の整備も含め、引き続き対策を実施する必要がある。		

(1) 今後の社会資本整備の方策

●点検・修繕関連事業、防災関連事業

事業前の課題	雪国の特性に配慮し、災害に強く市民が安全・安心に暮らせる道路空間を確保する。
--------	--

達成されたこと(効果)／残された課題		効果持続方策 改善方策	今後予定している 事業
達成されたこと	● 舗装や街路樹の点検・修繕を行い、道路の耐久性が強化された。それにより、有事の際に道路に強い負荷がかかった場合にも備えることができた。 ● 災害リスクが高い場所を中心に避難路の整備や冠水対策、雪崩対策施設の設置を実施し、災害時の安全な通行を確保した。	● 舗装修繕等を引き続き実施する。 ● 「長岡市国土強靱化地域計画」、「長岡市地域防災計画」に基づき、今後想定される災害リスクに対応した道路整備を実施する。	● 舗装修繕 ● 避難路の整備 ● 冠水対策 ● 街路樹舗装修繕 ● 雪崩防護柵の設置
残された課題	● 日々老朽化していく舗装に対して、引き続き整備をし続ける必要がある。 ● 災害リスクの低減に向けて、引き続き整備を行う必要がある。		

審 議

(意見聴取②)

ご審議ありがとうございました。
